

平成30年2月1日
企画調整局

平成29年度における北九州市国家戦略特区の取組みについて

（平成30年1月31日現在）

- ・ 区域会議の報告について . . . 資料1 P.1
- ・ 国家戦略特区 特例措置活用状況 . . . 資料2 P.6

（参考資料）

- ・ 北九州市の国家戦略特区の取組みについて . . . 資料3
- ・ 国家戦略特区パンフレット
- ・ 国家戦略特区推進セミナー（開催のご案内）

平成 29 年度における北九州市国家戦略特区の取組みについて (平成 30 年 1 月 31 日現在)

■ 国家戦略特別区域会議

日 時 平成 29 年 9 月 4 日 (月) 17:00～

場 所 虎ノ門ヒルズフォーラム 4 階ホール B (東京都港区虎ノ門 1-23-3)

出席者 内閣府特命担当大臣 梶山 弘志

北九州市副市長 今永 博

○ 本市の提案内容等

【報告】

- ・特区民泊のスタートについて (平成 29 年 7 月～)

【特区メニューの活用】

- ・エリアマネジメントの民間開放 (2 事業)
既存 5 箇所 (小倉 2、門司港 2、八幡東 1) に加え、黒崎 2 箇所を実施

○ 主な意見等

- ・「北九州市は観光の分野での提案だった。市街化調整区域で初めて民泊を導入して、そこに観光客を誘致しようということは重要な提案だと思う」

■ 国家戦略特別区域会議

日 時 平成 29 年 12 月 13 日 (水) 17:30～

場 所 ベルサール六本木コンファレンスセンター Room「H」 (東京都港区六本木 3-2-1)

出席者 内閣府特命担当大臣 梶山 弘志

北九州市長 北橋 健治

○ 本市の提案内容等

【特区メニューの活用】

- ・空港アクセスの改善に向けたバス関連規制の緩和
- ・電波法に係る特定実験試験局の免許発給手続きの短縮 (2 事業)

【新たな規制緩和の提案】

- ・大規模国際大会誘致等に向けた留学生の資格外活動許可に係る規制緩和

○ 主な意見等

- ・「留学生に関する北九州市の提案は、ここで実現すると全国で実現できる可能性のある提案ではないか」



国定公園 平尾台

平成29年7月
特区民泊スタート



追加案件の概要

黒崎地区の概要

- 黒崎副都心（ E 黒崎駅は九州で6位の乗車人員）に位置する商業地域
- 駅北側には安川電機などの世界的な企業、南側には文化交流・国際交流の拠点が立地

➡ **新たなにぎわいが生まれるポテンシャルを秘めたエリア**

今回追加案件（2件）

①カムズ イノベートプロジェクト（カムズ通り）

〈実施団体（民間構成員）〉

ツグタウン
tugu.town 黒崎実行委員会

〈実施内容〉

- ・ 商店街アーケードでオープンカフェやマルシェを開催し、交流や憩いの場を創出
- ・ 新たなにぎわいと活気のある通りを目指す



② story of pedestrians（ストーリー オブ ペDESTリアンズ）（黒崎駅ペDESTリアンデッキ）

〈実施団体（民間構成員）〉

黒崎コミュニティ

〈実施内容〉

- ・ 交通の結節点である黒崎駅のペDESTリアンデッキ上でオープンカフェやマルシェを開催
- ・ これまで通行するだけであった人を留め、商店街や周辺施設への新たな人の流れをつくる



各事業の相乗効果により、黒崎地区に新たな人の流れをつくる

小倉北区 紫川



小倉駅



空港アクセスバス



ていたん&ブラックていたん

24時間空港と小倉都心間のアクセスバスの運行

【運賃及び運行計画に関する道路運送法施行規則の特例】

国内線・国際線の**利用客増加**
利用者の**利便性向上**のため

臨時バスの運行を柔軟に設定！

北九州空港位置図



活用事業者：西鉄バス北九州(株)



九州唯一の
24時間空港

特例活用効果

空港アクセスの更なる充実が図られ、
24時間空港の強みを最大限活用可能

**インバウンド拠点形成
を目指す！**

特定実験試験局制度に関する特例

公共インフラの点検を効率化 近未来技術実証から
飛行モニタリング技術の確立 新たなビジネスの創出へ！

株式会社 国際海洋開発

無人機で撮影した高画質映像の伝送技術実証

- ・無人水上艇、ドローンに設置した高画質映像を遅滞なく伝送する技術実証。
- ・港湾護岸等のインフラ点検や災害時の状況調査等に活用。



一般社団法人 無人機研究開発機構

レーダーによるドローン等の監視技術実証

- ・マイクロ波レーダーを利用し、無許可ドローン等の航空利用状況を監視する技術実証。
- ・将来的なドローン等による空中利用拡大を見据え、空中監視や危機管理等への活用を期待。

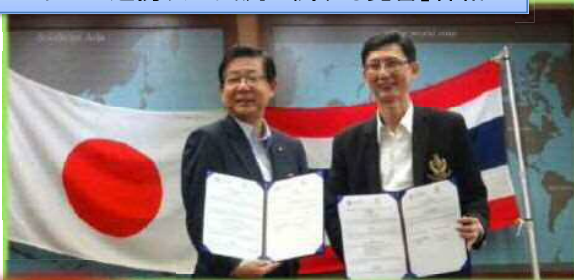
無許可ドローン



ものづくりの街のポテンシャルを活かし、新たな社会の課題を解決！

大規模国際大会誘致等に向けた 留学生の資格外活動許可に係る規制緩和

2016.6.23 タイ王国とのスポーツ交流
「スポーツ連携及び交流に関する覚書」締結



課題

通訳・おもてなし体制強化
⇒対応可能な人材の確保が必要
留学生等の積極的活用を！

規制改革提案

・市が雇用の実施主体となり、スポーツ等の協定を締結している国の留学生（プロの通訳が少ない言語）に限り、学校の了解を得ることを前提に就労時間を週40時間まで緩和（留学生1人あたり、年間最大2週間程度の活用）

効果

- ・外国の選手団に対して、おもてなしの充実を図るとともに、通訳経験を有する外国人の増加によりTokyo2020などキャンプ地やその他大規模国際大会等の誘致につなげる。
- ・留学生の研修効果にもつながり、さらなる文化交流を促進していく。

大規模国際大会

キャンプ地誘致等

- ・2019年ラグビーワールドカップ
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会
- ・HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ
- ・ワールドパラパワーリフティングアジア・オセアニアオープン選手権大会



現状

就労など、本来の在留資格（留学）以外の活動をするに
ついては、週28時間以内に制限
（長期休暇中の留学生は1日8時間）

17.12.13現在

平成29年度 国家戦略特区 特例措置活用状況

自治体名	特例措置	事業数	区域会議
仙北市 特例 1 事業 1	旅行業務取扱管理者確保事業	1	17.05.16
仙台市 特例 2 事業 2	一般社団法人等への信用保証制度の適用	1	17.05.16
	革新的な医薬品の開発迅速化(東北大学病院)	1	17.12.13
新潟市 特例 1 事業 1	特区民泊	1	17.04.20
東京都 特例 8 事業 13	都市公園占用保育所等施設設置事業	3	17.04.20
	診療用粒子線照射装置海外輸出促進事業	1	17.04.20
	開業ワンストップセンター	2	17.04.20
	東京テレワーク推進センターの設置	1	17.04.20
	民間都市再生事業	1	17.09.04
	都市計画建築物等整備事業	3	17.09.04
	外国人医師の業務解禁	1	17.09.04
	自動走行実証ワンストップセンター	1	17.09.04
神奈川県 特例 2 事業 2	区域限定保育士試験(多様な法人の活用)	1	17.12.13
	課税の特例措置	1	17.12.13
千葉市 特例 1 事業 1	特区民泊	1	17.12.13
愛知県 特例 2 事業 2	農家への信用保証制度の適用	1	17.09.04
	自動走行実証ワンストップセンター	1	17.09.04
京都府 特例 1 事業 1	医療機器薬事戦略相談の実施	1	17.12.13
大阪府 特例 4 事業 4	特区民泊	1	17.12.13
	公立国際教育学校等管理事業(市立水都国際中学・高校)	1	17.12.13
	革新的な医薬品の開発迅速化(大阪大学医学部附属病院)	1	17.12.13
	家事支援外国人受入事業	1	17.04.20
兵庫県 特例 2 事業 2	高度医療提供事業(病床規制に係る医療法の特例)	1	17.04.20
	家事支援外国人受入事業	1	17.04.20
養父市 特例 1 事業 1	自家用有償観光旅客等運送事業	1	17.12.13
福岡市 特例 2 事業 2	創業者人材確保支援事業	1	17.09.04
	課税の特例措置	1	17.09.04
沖縄県 特例 1 事業 1	農家レストラン	1	17.12.13
北九州市 特例 3 事業 5	エリアマネジメント	2	17.09.04
	特定実験試験局	2	17.12.13
	空港アクセスバス	1	17.12.13